

人口世界一に向かって爆走中！！

JSC 貿易部ニュース インド編

初秋の季節とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、前回のインド出張時のお話ですが、チェンナイ市内を移動中、車窓から外を眺めていますと……

一台のバイクが、まあまあなスピードで爆走！？しながら私たちの車を追い越していきました。「んんっ、えええっー！？ 5人乗り？？？」思わず二度見！！

信号待ちで、バイクに追いつき、ここぞとばかりのシャッターチャンスで撮影に成功したのがこの写真(笑)



ゆっくり人数を数えますね。後ろから赤ちゃん1人。
その赤ちゃんを抱きかかえる女性1人。

そのご主人らしき男性1人。そのご夫婦いずれかの父親？
運転手の頭の薄い男性が1人。

そして、その男性の前をよく見ると帽子が見えます。
見えますでしょうか。帽子を被った少年が一人、最前列に
います。

やはり合計5人です。(^^;

これまで、中国で三人乗りのバイクは頻繁に見てきましたが、五人乗りのバイクを見たのは初めてでした。

同乗する工場の人に「警察は取り締まらないのかな？」と聞いてみると「小さい子供も乗っているから警察も許してるんですよ～」と、なんとも微笑ましい？インドらしい？説明。

でも、小さい子供がいるからこそ安全に配慮して取り締まってあげてほしいなあと感じるのは私だけでしょうか(笑)

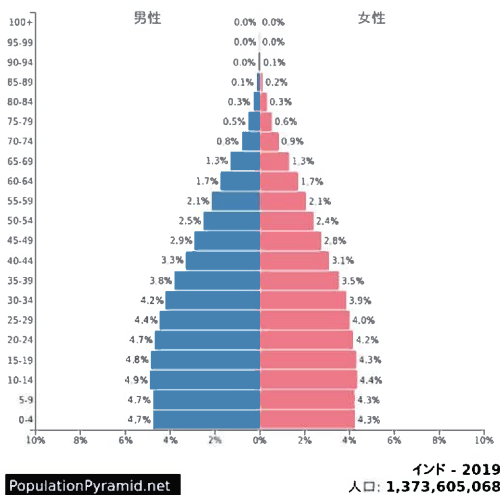
このバイクの違反乗車の件、なにかと比較の対象となる中国ではどうかと言うと、長年「一人っ子政策」が続いた中国では、これまでは家族で移動と言えばバイクに三人乗り??が多かったのですが、最近は車が増えてきていて、バイクの三人乗りは田舎の方でもあまり見かけなくなりました。

しかし、さすがはインドです。四人乗りは割とよく見かけるのですが、遂に五人乗りのバイクが登場。そのうち六人乗りのバイクを見られる日が来るかもしれません。(^^)

ちなみに、国連が発表した世界人口の推計では、インドは 2027 年前後には中国を抜き人口世界一となることが明らかになっています。

バイクの乗車人数からもインドの人口増加を垣間見ることができます (笑)

現在インドの人口は、下のグラフのように 13 億強です。統計上では、一日約 7 万人、年間約 2500 万人の子供が増えているということになります。平均年齢は 20 台半ばです。



日本国内に目を向けてみると、年間出生数は 91.8 万人で、少子高齢化がどんどん進み、人口減少に歯止めがかからない状況です。

しかし、一転インドに目をやるとどんどん子供が生まれ、若い世代が増えています。

でも、もちろんいい事ばかりではありません。

これだけ人口が増え続けるインドには重大な課題もあります。その一つは雇用問題です。

増え続ける人間を労働市場が吸収し切れるはずがありません。失業率も上がっています。

一部のエリートは IT 業界や金融業界を目指しますが、国民の多くはまだまだ貧しい人達が多く仕事にも就けていません。

例えば、中国では経済発展とともに、いわゆる 3 K に分類される石材加工の仕事に就こうという人達はいなくなっています。しかし、インドでは石材加工の仕事に従事してくれる若い人達がまだ辛うじていてくれます。

写真は当社のパートナー工場の職人さんです。

20 代、30 代の人も多いです。もちろん 40 代のベテランの職人さんもいます。



インドのモディ首相の肝いりのスローガンは「**Make in India**」です。国が抱える人口問題に対応する雇用創出の為のスローガンですね。世界の工場「中国」を意識してのスローガンです。

そう考えると、日本の墓石市場においても再びインド製品が増えていく可能性は十分にあるのかも！？

インド担当の私としては「**Make in India**」をスローガンに掲げ、より多くのお客様にインド製品をご利用いただけることを目標に努力しておりますので、どうぞよろしくお願い致します!! (^)

さて、今月の石のお話です。

「**Make in India**」のスローガンのもと日々格闘しているインド仕入ですが、インドを代表する黒御影石において朗報です！

長らくお待たせしました。お待ちかねです。

ついに、本クンナムを安定して供給できる体制が整いました！

これまでも少量でのご対応はできておりましたが、ようやくある程度の量のクンナムが生産できる材料を確保できました。

ただ、レギュラーサイズの墓石メインですので、外柵材や大きい規格は都度の確認をお願いします。



個人的には、爆走を続けるインド人口と 5 人乗りバイクのように？(笑)

クンナムが日本市場を駆け巡ってくれることを期待しております!! (^)

では、今月号も最後まで読んで頂き、誠に有難う御座いました。

まだまだ残暑厳しい折、皆様ご自愛くださいませ。